

令和2年度第1回仙台市地域保健・保健所運営協議会 議事概要

開催日時	令和2年8月13日（木） ※書面開催
委員 (順不同・敬称略)	寶澤篤（委員長） 長野正裕 相澤雅子 赤坂和昭 安齋由貴子 猪股佳子 及川敦子 岡崎博 小田島久美子 片倉成子 北村哲治 小池和幸 小菅玲 佐々木秀美 西村秀樹 橋本実 又木潤 森谷就慶
次第	[報告事項] (1) 令和2年度 健康福祉局・子供未来局の主要事業等について (2) 仙台市における新型コロナウイルス感染症対策について (3) 令和2年度 食品の安全性確保対策について [協議事項] (1) 「第2期 いきいき市民健康プラン後期計画」に基づく事業について

委員からの意見・質問

[報告事項] (1) 令和2年度 健康福祉局・子供未来局の主要事業等について

<質問>	
森谷委員	資料1 P20 ⑩子どもの貧困対策の推進、⑪ひとり親家庭への支援の充実について、元年度当初予算額より減額されています。今年度に入り、事情が大きく変化していると思われませんが、支障は生じていませんか。
<回答>	
教育局学事課	【⑩について】 減額は要保護及び準要保護世帯児童生徒に対する就学援助に係るものです。新型コロナウイルス感染症の影響により認定者が増加することを見込んでおりますが、現段階において支障は生じておりません。
子供未来局 子供家庭支援課	【⑪について】 減額は高等職業訓練促進給付金等によるものです。高等職業訓練促進給付金は、前年度から継続して受給している方の人数や新規申し込み数（見込み）を基に予算を算出しており、現時点では今年度予算に影響は出ておりません。

[報告事項] (2) 仙台市における新型コロナウイルス感染症対策について

〈質問〉	
小菅委員	資料2 P17「No.8 学校における感染防止対策の推進」について 学校における「歯みがき」についてはどのような見解でしょうか。
〈回答〉	
教育局 健康教育課	<p>従前から給食後の歯みがきを実施してきた学校においても、ブラッシングやうがいに起因する飛沫感染を懸念し、実施を見送っている例があるようです。</p> <p>しかしながら、口腔ケアは児童生徒の健康保持に重要な役割を果たしているものと認識しておりますことから、感染防止にも配慮した学校での歯みがきの実施方法について、貴会の助言もいただきながら検討を行ってまいりたいと考えております。</p>
〈意見〉	
森谷委員	<p>資料2 P27 No.40 人権配慮に関する啓発について 非常に重要なことだと考えるので、強く要望したい。「新型コロナウイルス感染症」に関連する様々な場面で、広く推進して行って欲しい。</p> <p>資料2 P27 No.41 心のケア・自死予防について 予想される経済的な困窮に対しても、支援をつなげられるように、相談窓口での連携を強くお願いしたい。自死を減らしてきたこれまで取組みをより積極的に展開して行って欲しい。</p>
〈回答〉	
健康福祉局 障害者支援課	<p>コロナウイルス感染症の影響は、失業や収入減少などの経済的問題や、家族や友人との人間関係の問題など幅広い範囲に及んでいるため、これまで実施してきた「仕事とこころの相談会」について、相談に応じる専門職種を増やし、回数を増やすなど拡充して、様々な問題に対応できる「暮らし支える総合相談事業」を整備し、令和2年10月から事業を開始しております。自死の予防のためには、さまざまな問題に対応できるよう多くの関係機関とのネットワークを活用していく必要があるため、事業の委託先には相談事業の経験が豊かで、多様な連携先を持つ一般社団法人パーソナルサポートセンターを選定しております。</p>
〈意見〉	
猪股委員	<p>せんだい生活スタイル～合言葉は「だ・て・ま・さ・む・ね」は、ユニークで良いと思うので、どんどん発信して行ってほしいと思いま</p>

	した。
長野委員	仙台市における新型コロナウイルス感染症対策についてですが、8/24 付で仙台市医師会安藤会長から「開業会員医療機関における行政検査としてのPCR検査を確立・拡充します」旨の通達が出ております。
佐々木委員	新型コロナウイルス感染症対策における、コールセンターの実施については、看護協会としても、受託の継続をしているところです。今後においても、コールセンターの機能の継続及び情報の提供については、インフルエンザの流行時期と重なりさらなる充実が求められることと考えます。その際、情報提供の内容について、県及び他関係機関との協力等、広く共有できるよう体制強化を期待します。

[協議事項] (1) 「第2期 いきいき市民健康プラン後期計画」に基づく事業について

<意見>	
小田島委員	資料4 P3～5 重点分野1(1)及び(5)、重点分野3(7)について <p>新型コロナウイルス感染症が流行する中で、たとえばSNSやアプリを活用するなど、新しい生活様式に則した取り組み方法を考えていくべきと考えます。</p> <p>P9 重点分野を支える社会環境の改善・整備については、他局や企業等との連携の中で具体的な取り組みとなるように期待しています。</p>
赤坂委員	資料4 P4(5) 歩きやすい、運動しやすい環境作りについて <p>「COVID-19」感染拡大の影響で、スポーツジム等での運動や外出を控える傾向があり、日ごろの運動不足を気にしている方も多いのではないかと思います(5月くらいから早朝や夕方にランニングや散歩をする人が少し増えたように思います)。この取り組みは手軽で安全な運動機会の確保の意味で重要と考えます。COVID-19 とのかかわりで、ウォーキングの際の感染防止策や、おすすめコースなどとセットで紹介すると、通常より注目してもらえるのではないかと思います。</p> <p>P8 及び P14～「仙台市保健所支所の取り組み」各支所の重点分野6について 「COVID-19」を明記していたのは青葉区保健福祉センターのみでした。COVID-19 については、資料2の通り市全体として対応されておりますが、今後長く続くことも想定され、本プランの取り組みにも明記された方がよいのではないかと思います。</p>

<p>寶澤委員長</p>	<p>資料4 P12</p> <p>幅広い業種との連携 事例が大きく広がり素晴らしいと思います。それぞれの事業がいきいき市民健康プランのどの部分を支え貢献するのかをもう少し書きこめるといいかなと思います。</p> <p>例えば、学校との連携は重点分野1、2、3、4、5のいずれにも関わる部分だと思います。</p> <p>P13 ④仙台市小学校教育研究会との連携について、 「検討を行っている。」のあとに「重点分野1～5」の達成に向けて検討をすすめていくなどの文言追加はいかがでしょうか。</p> <p>P28～ 「4. 仙台市の取り組み事業一覧」は素晴らしいと思います。取りまとめありがとうございます。</p>
<p>長野委員</p>	<p>資料4 P19</p> <p>第2期いきいき市民プラン後期計画ですが、P19（一社）仙台市医師会におきまして特に追加・変更はございません。</p>
<p>猪股委員</p>	<p>特に質問等はございません。</p> <p>世界的にコロナ禍となり、やはり感染症対策は必須ですが、〈推進の方策〉の中に「新型コロナウイルス感染症」の文言は含まれておりますし、〈重点分野6〉として「感染症予防」として掲げられておりますので問題はないと思います。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>生活習慣の改善については、集団での健康教育の機会が著しく減少しています。個で求めて受診する場面を活用できるよう、健康教育情報の提供体制について、環境整備を進めてはいかがでしょうか。</p>
<p>西村委員</p>	<p>第2期いきいき市民健康プラン後期計画は、労働行政が職域において取り組んでいる、心身の健康保持の具体的施策であるTHP（トータル・ヘルス・プロモーションプラン）と合致するものであり、宮城労働局を始めとする産業保健関係（職域保健関係）行政機関・団体との連携・協力を一層強化していただくようお願いいたします。</p> <p>特に、健康診断の確実な実施及びその後の的確な事後措置、健康保持増進のための運動指導、労働者に非常に多いメンタルヘルス不調予防等のためのメンタルヘルスケア、治療と仕事の両立等においては、連携することにより相互乗り入れしながら取組を拡大することが可能と史料され、そのための担当者レベルによる日常的な情報交換等が行えるようなネットワークを一層強化できると良いかと思われまます。</p> <p>労働行政においては、高年齢労働者の労働災害が増加傾向にあるため、</p>

	<p>「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）」を策定し、その推進に強力に取り組んでいるところであり、健康寿命の延伸という大きな目的との親和性はきわめて高いことから、当該施策の周知・広報に係る一層の協力・支援をお願いしたい。</p>
--	--

[その他]

〈意見〉	
片倉委員	<p>参考資料2 P6の結果から、肺がん、大腸がん上位の結果なので、もう少し積極的な事業の推進を図る重要性を感じます。</p> <p>P9 6. メタボリックシンドローム予備軍、該当者の状況から宮城県よりは低いという事ですが、県の場合、自治体によっての差が大きいため高い自治体においては積極的に予防活動の事業を進めていく方向にいけば良い状況になれるが、仙台市の場合はやはり高い傾向にあるので、放っておく事により生活習慣病を招き、医療につながり、将来的には介護のウェイトが高くなり、寝たきりを招くという状況が考えられるので、もう少し積極的な働きかけをすべきと考えられます。</p>
〈回答〉	
健康福祉局 保険年金課	<p>(仙台市国民健康保険加入者への対応について)</p> <p>特定健診対象者への通知や架電による受診勧奨、受診者への生活習慣改善の啓発リーフレット送付、特定保健指導対象者への通知や架電による利用勧奨等の生活習慣病予防の取組み、また、検査値高値者や糖尿病性腎症ハイリスク者への通知や架電による受診勧奨、保健指導の重症化予防の取組み等、関係機関、関係部局と連携しながら引き続き継続して参ります。</p>
〈意見〉	
赤坂委員	<p>各種ネットワークづくりについて、すでに取り組まれているかもしれませんが、ZoomやTeams、Slackなどを活用することで各施設や機関などの情報共有などがより円滑に進むかと思います。学生は授業などで慣れているため、学生を巻き込んだ活動は特に有効だと思います。</p>
安齋委員	<p>日常業務においても感染予防の対応が求められ、過重な労働になっていることが予想されます。</p> <p>過重労働になっている部署への支援や外部のマンパワーを活用するなど、職員の方々の健康についても対策していただきたいと思いました。</p>

	<p>また、市民生活も大きく変化しているので、今後、その具体的な内容とそれに伴う健康への影響について、情報収集・分析し、その対応策についての検討が必要になってくるのではと思います。</p>
橋本委員	<p>仙台市の基本計画にSDG s（持続可能な開発目標）が謳われています。目標の3すべての人に健康と福祉、11住み続けられるまちづくりなどを加筆し、この協議会もSDG sを意識していることを示した方が良いと思います。</p> <p>内容については異論ありません。</p>